

草の根パートナー型  
2018年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ケニア共和国
2. 事業名	ケニア国ホマベイ地区における持続可能なスナノミ感染症対策プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>ケニア共和国（以下「ケニア」という。）におけるスナノミ症の推定感染者数 200 万人、国民の 4%にのぼると推定される。ケニア保健省はスナノミ症対策を 2014 年に制定し、スナノミ症の治療薬や殺虫剤散布による予防方法の指針を策定した。同指針に基づき、スナノミ症感染者が発見された場合、毎月保健局に報告するよう義務付けられたものの、同報告システムが十分に機能しておらず、スナノミ症感染者の正確な実態は把握されていない状況である。スナノミ症は人獣共通の寄生性皮膚疾患であり、砂地の他、羊や鶏の小屋の周囲に生息するノミの一種により引き起こされる疾病である。スナノミ症は、痛みや患部の変形から歩行困難、最悪の場合は 2 次感染により死にも至るものであり、就学・就職の困難による経済的貧困や患部の変形による社会的偏見に繋がるものである。</p> <p>本事業の対象地域であるホマベイカウンティは、HIV 感染率が 20.7%とケニア国内で最も高く、マラリアの流行地域でもあるため、保健省や活動団体の予算比重は前述二大感染症へ大きく傾いており、約 6,000 人（ホマベイカウンティ保健局及びスバサウス、ンディワサブカウンティ保健局の 2017 年及び 2018 年の疾病統計）と推定されるスナノミ症感染者への治療及びスナノミ症対策が十分に実施されているとは言い難い状況である。スナノミ症は同疾病に対する理解向上、行動変容や生活環境の改善によって予防でき、適切な治療を施せば治癒する可能性が高いため、草の根事業による投入により、対象地域のスナノミ症の状況を劇的に改善することが見込まれる。</p>
4. プロジェクト目標	スバサウスサブカウンティ及びンディワサブカウンティにおいて、住民のスナノミ症感染率（＝スナノミ症感染者数/CHV による捕捉者数）が減少する。
5. 対象地域	ケニア共和国 ホマベイカウンティ （スバサウスサブカウンティ、ンディワサブカウンティ）
6. 対象地域を管轄する在外公館（大使館、領事館、領事事務所）	在ケニア日本国大使館
7. 受益者層（ターゲットグループ）	<p>直接裨益者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スナノミ症感染者 推定 6,000 人及びスナノミ症感染者の家族 推定 30,000 人</li> <li>・CHA 72 及び CHV 796 人</li> <li>・診療スタッフ 約 115 人</li> </ul> <p>間接裨益者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全住民 約 340,000 人※小学校児童 推定 120,000 人を含む</li> </ul>
8. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Community Health Assistant (CHA) と Community Health volunteer (CHV) のスナノミ感染家庭数と感染者数を同定し報告する能力が向上する。</li> <li>2. 診療スタッフ、CHA、CHV のスナノミ症治療と予防啓発に関する技術と知識が向上する。</li> <li>3. 診療スタッフ、CHA、CHV の住民と小学校児童向けの予防・啓発活動の実施・モニタリング体制が強化される。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 CHA・CHV 向けにスナノミ症の同定と罹患調査に関するアセスメント及び研修を実施する。</li> <li>2 CHA・CHV による月例報告書の作成・提出をモニタリング・スーパーバイズする。</li> <li>3 診療施設代表者・CHA・CHV 向けにスナノミ症の治療と予防啓発に関するアセスメント及び研修を実施する。</li> <li>4 コミュニティ及び小学校における住居環境、住民のスナノミ症に対する知識・態度・行動等に関する調査及び調査結果の解析を行う。</li> <li>5 住民及び小学校児童向けのスナノミの予防啓発活動の実施・報告をスーパーバイズする。</li> </ol>
9. 実施期間	2021 年 2 月～2026 年 2 月（5 年 0 ヶ月）
10. 事業費概算額	109,620 千円
11. 日本側実施機関	国立大学法人 長崎大学
12. 相手国側実施機関	ホマベイカウンティ保健局
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人 長崎大学
2. 活動内容	ケニアにおいて、国際連携研究および国際協力活動に長年従事し、現地・国内で人材育成を行ってきた。本提案事業の対象地域の一部であるピタサブカウンティにて、2006 年から教育研究活動を継続しており、2009-11 年に地域保健事業、2012-2017 年に学校保健事業を、JICA 草の根技術協力事業パートナー型で実施した。